

オープンデータの現状と活用案

平成30年12月

平成30年度 OISA技術研究会
オープンデータ部会

【部会員】

和田良夫	モバイルクリエイイト株式会社
坂田美穂	モバイルクリエイイト株式会社
渡邊太輝	株式会社オーガス
北勝志	大分シーイーシー株式会社
中村拳也	大分大学
桑本風李	株式会社オーイーシー
本田麻華	株式会社オーイーシー
中園ちひろ	株式会社オルゴ
赤嶺貴司	株式会社オルゴ

Agenda

- 1. 大分県内でのオープンデータ活用の現状**
- 2. 今回の取り組みについて**
- 3. 今後の課題と活用について**

大分県内でのオープンデータ活用の現状

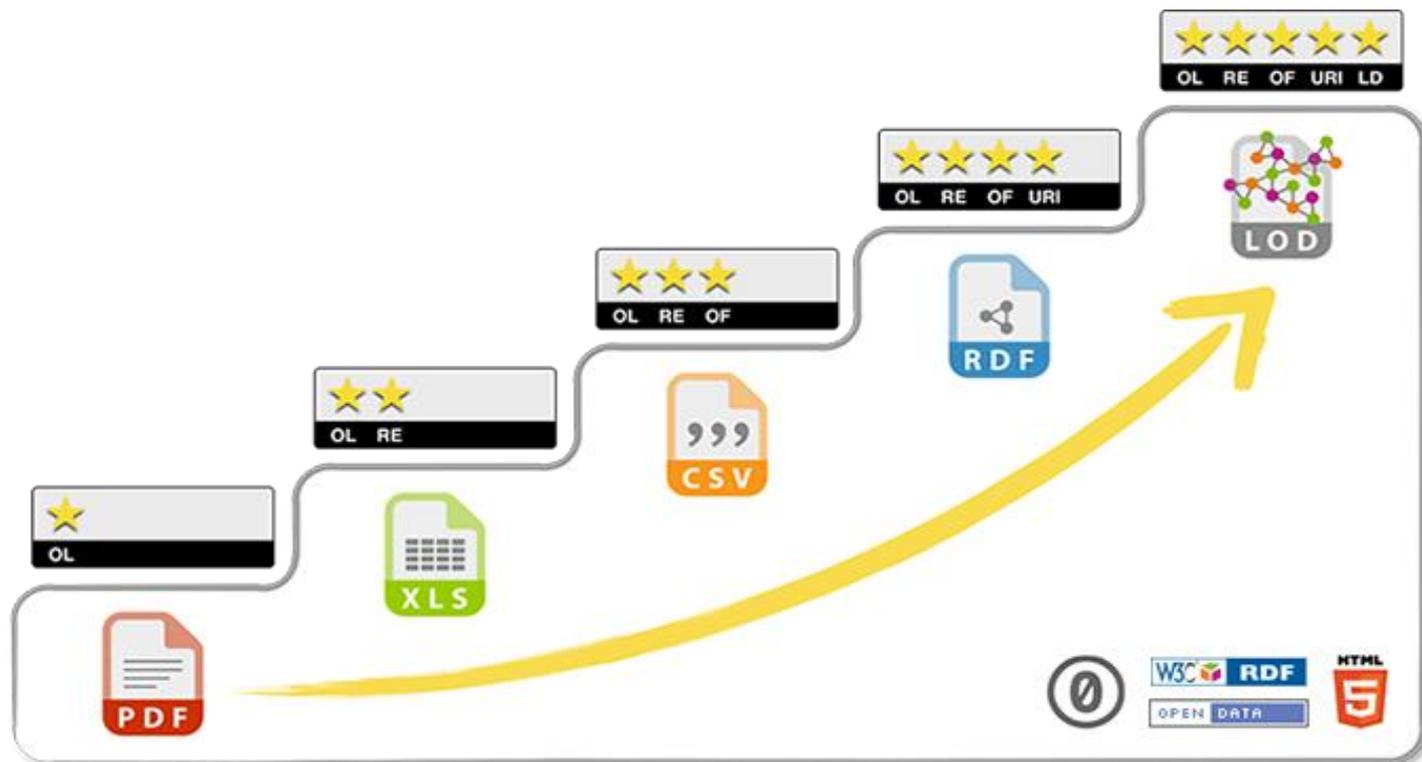
オープンデータの定義

国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用（加工、編集、再配布等）できるよう、次のいずれの項目にも該当する形で公開されたデータをオープンデータと定義する。

1. 営利目的、非営利目的を問わず二次利用可能なルールが適用されたもの
2. 機械判読に適したもの
3. 無償で利用できるもの

 誰でも使えて活用されやすいデータ

オープンデータ評価指標



<https://5stardata.info/ja/> から引用

オープンデータ評価指標

★ オープンライセンスでデータを公開

どんな形式でもいいのでデータを公開すること



大分市公式ホームページ (<http://www.city.oita.oita.jp/>)

オープンデータ評価指標

★★ コンピュータで処理可能なデータを公開

特定のソフトウェアを使うことで、
データの集約，計算，可視化等を直接処理できること



大分市関連施設	AED設置施設一覧表 (大分市関連施設 CSV)		防災	2017-08-16	2018-01-26	CSV	 	消防局警防課
大分県の施設	AED設置施設一覧表 (大分県の施設 CSV)		防災	2017-08-16	2018-01-26	CSV	 	消防局警防課
平成30年6月新規許可 施設一覧	平成30年6月新規許可 施設一覧		健康・福祉・医療	2018-07-02	2018-07-11	CSV	 	福祉保健部衛生課
平成30年7月新規許可	平成30年7月新規許可		健康・福祉・医療	2018-08-01	2018-08-20	CSV		福祉保健部衛生課

公開データの形式を表示

大分市公式ホームページ (<http://www.city.oita.oita.jp/>)

オープンデータ評価指標

★★★ オープンに利用できるフォーマットで公開
特定のソフトウェアの機能に限定されることなく
利用者の好きな方法でデータを操作できること

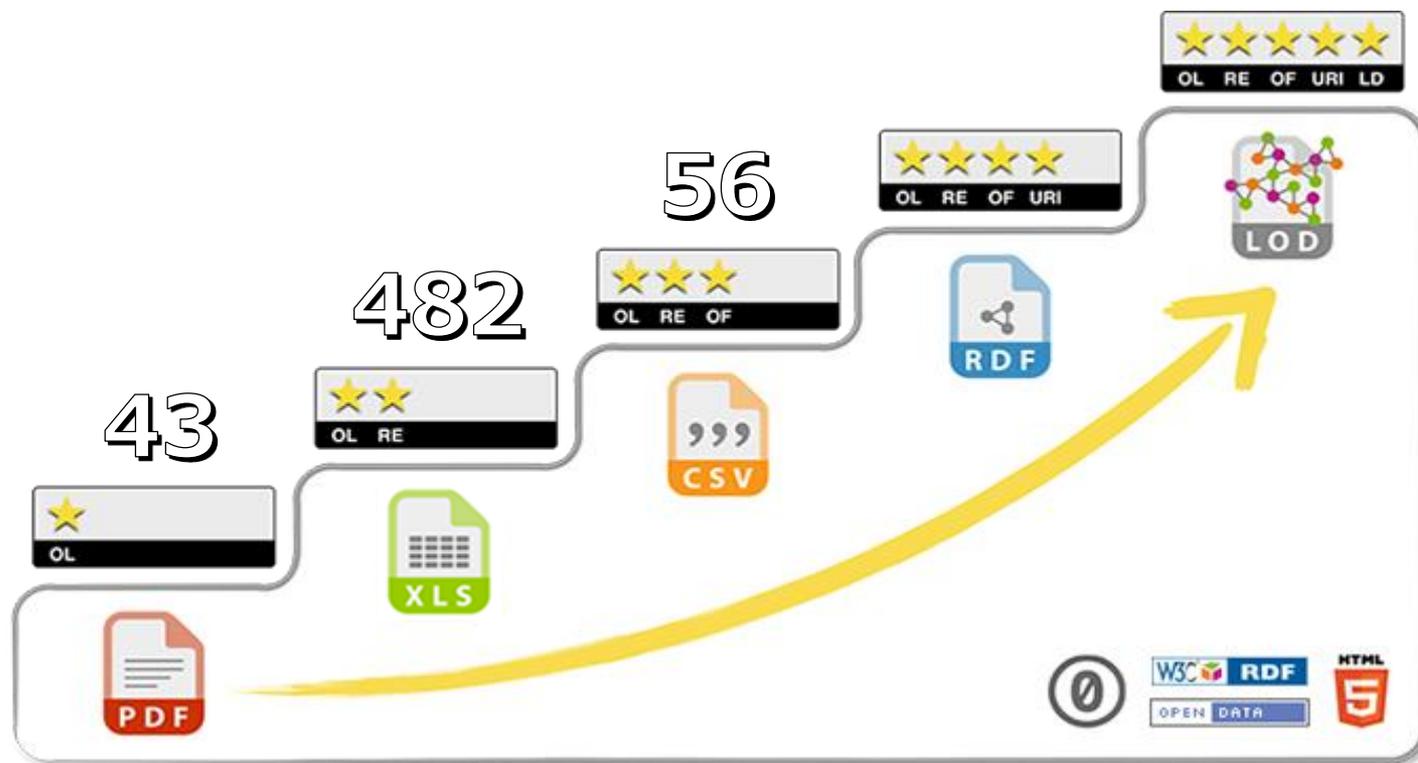


大分市関連施設	AED設置施設一覧表 (大分市関連施設 CSV)		防災	2017-08-16	2018-01-26	CSV	ダウンロード ページ△	消防局警防課
大分県の施設	AED設置施設一覧表 (大分県の施設 CSV)		防災	2017-08-16	2018-01-26	CSV	ダウンロード ページ△	消防局警防課
平成30年6月新規許可 施設一覧	平成30年6月新規許可 施設一覧		健康・福祉・医療	2018-07-02	2018-07-11		ダウンロード	福祉保健部衛生課
平成30年7月新規許可	平成30年7月新規許可		健康・福祉・医療	2018-08-01	2018-08-01			

CSVなので簡単に
利用できる

大分市公式ホームページ (<http://www.city.oita.oita.jp/>)

大分県内でのオープンデータ活用の現状



<https://5stardata.info/ja/> から引用

大分県内でのオープンデータ活用の現状

大分のオープンデータの活用事例

2. オープンデータジャパン

(https://opd.opendata-japan.com/prefecture_category_s20s?prefecture_code=44)

The screenshot displays the 'Open Data Japan' website interface. At the top, there is a navigation bar with links for 'Home', '都道府県' (Prefecture), 'カテゴリ' (Category), 'カテゴリと都道府県' (Category and Prefecture), '新着情報' (New Information), '検索' (Search), and 'お知らせ' (Notice). Below the navigation bar, the breadcrumb trail shows 'Home > 大分県 > 大分県のオープンデータ'. The main heading is '大分県のオープンデータ'. A map of Japan highlights Oita Prefecture in red. Below the map, there is a section titled '働き方を変える資格4選' (4 Qualifications to Change the Way of Working) with a 'もっと見る' (View More) button. A search bar is present with a '検索' (Search) button and a 'クリア' (Clear) button. Below the search bar, there are buttons for 'カテゴリ' (Category), '種類' (Type), and '市区町村' (City/Town/Village). The 'カテゴリ (大分県)' section is active, showing a list of categories. On the right side, there are sections for '記事タイトル検索' (Article Title Search), 'お知らせ' (Notice) with a list of updates, and '新着情報' (New Information) with a list of news items. At the bottom right, there is a 'メニュー' (Menu) section with links for 'Home' and '都道府県' (Prefecture).

オープンデータの活用のメリット

1. 地域問題の解決

- 住民が容易にデータ入手可能になる
- 事業者による保育施設情報を活用したアプリの開発

2. 行政の高速化・効率化

- 別々の業務課が同じようなデータを作成・管理
- 各々が紙ベースで管理していたデータを電子化

3. 透明性・信頼性の向上

- 公共データを公開することで国民が十分な分析及び判断が可能

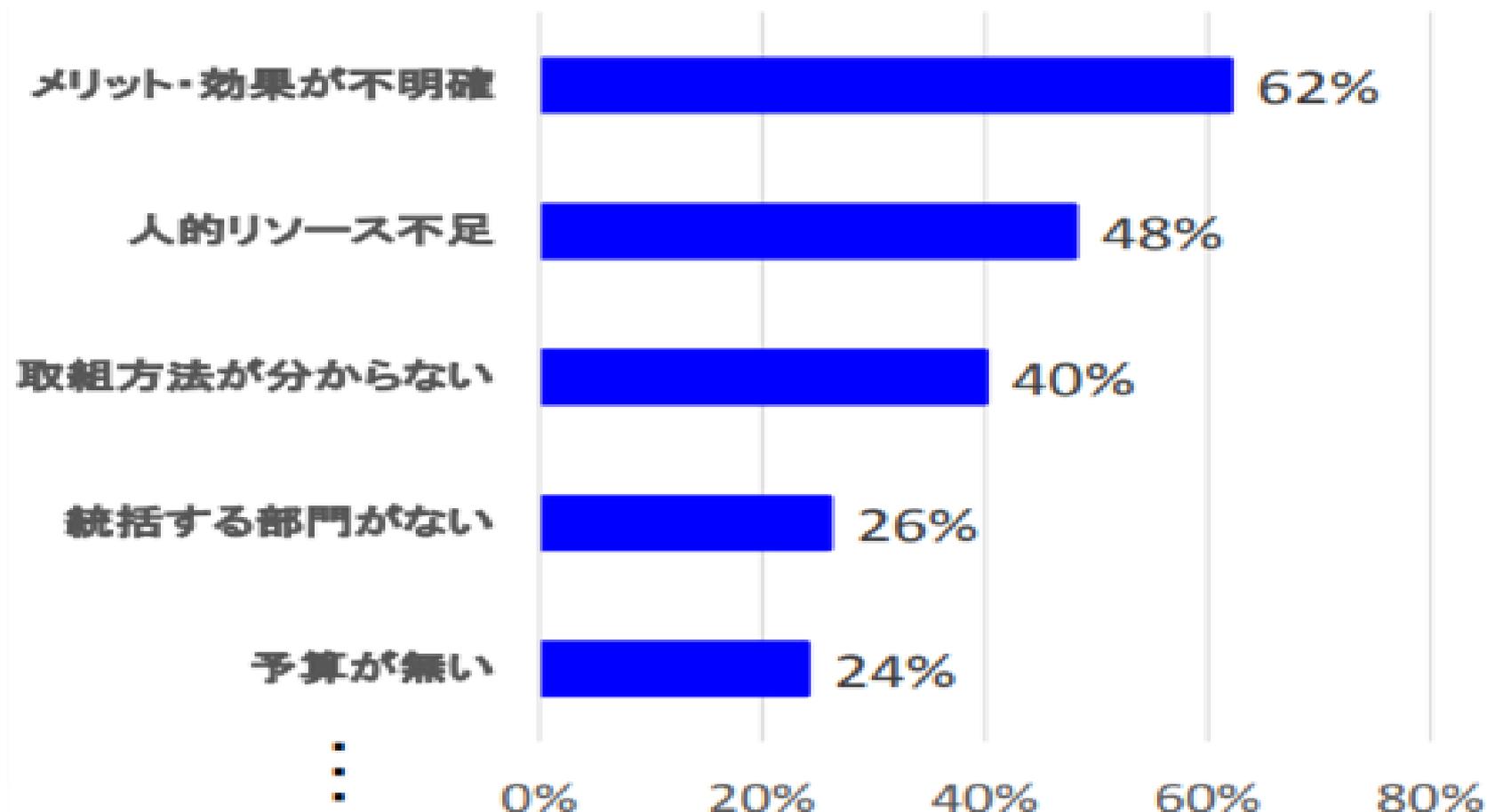
オープンデータの活用への課題

- 政府目標

→ 自治体の取り組み率 **100%**

→ 現状 **19%** に留まる…

オープンデータに向けた課題・問題点



出典：オープンデータの取組に関する自治体アンケート結果
(平成28年12月内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室実施)

今回の取り組み

今回の取り組み

オープンデータについて検索

- 地図を使ったものが多い

何を作るか

- 簡単に作れて多くの人に活用してもらえるもの
- 地図上に情報を展開するツールはある
 - 表示するデータがあれば簡単に作成できそう

⇒ **地図を使って何か作りたい！！**

今回の取り組み

地図を使って何ができるか

- 市内イベント等の可視化
- Free Wi-Fiスポット
- 防災
- 防犯
- キャッシュレス etc.

検討事項

- 誰がいつ使うのか
 - 実際に作ったとして、自分たちは使いたいのか or 使うか
 - 一度作って終わりよりも随時データが変わるものがない
- ⇒意義のあるものを作りたい。

今回の取り組み

世間の状況

- 2019年 ラグビーワールドカップが開催される。
- 2020年 東京オリンピックが開催される。
- 2025年 大阪万博が開催される。

⇒**大勢の訪日客が来日・来県することを想定**

支払いの際、現金だけでなくカード使用可能かどうか
確認するのは・・・

キャッシュレス決済が可能な 施設の情報を集めて **可視化する**

- キャッシュレス決済が可能な施設をマッピング
- 飲食店、衣料店、家電量販店、公共交通機関、自動販売機、病院
ect.

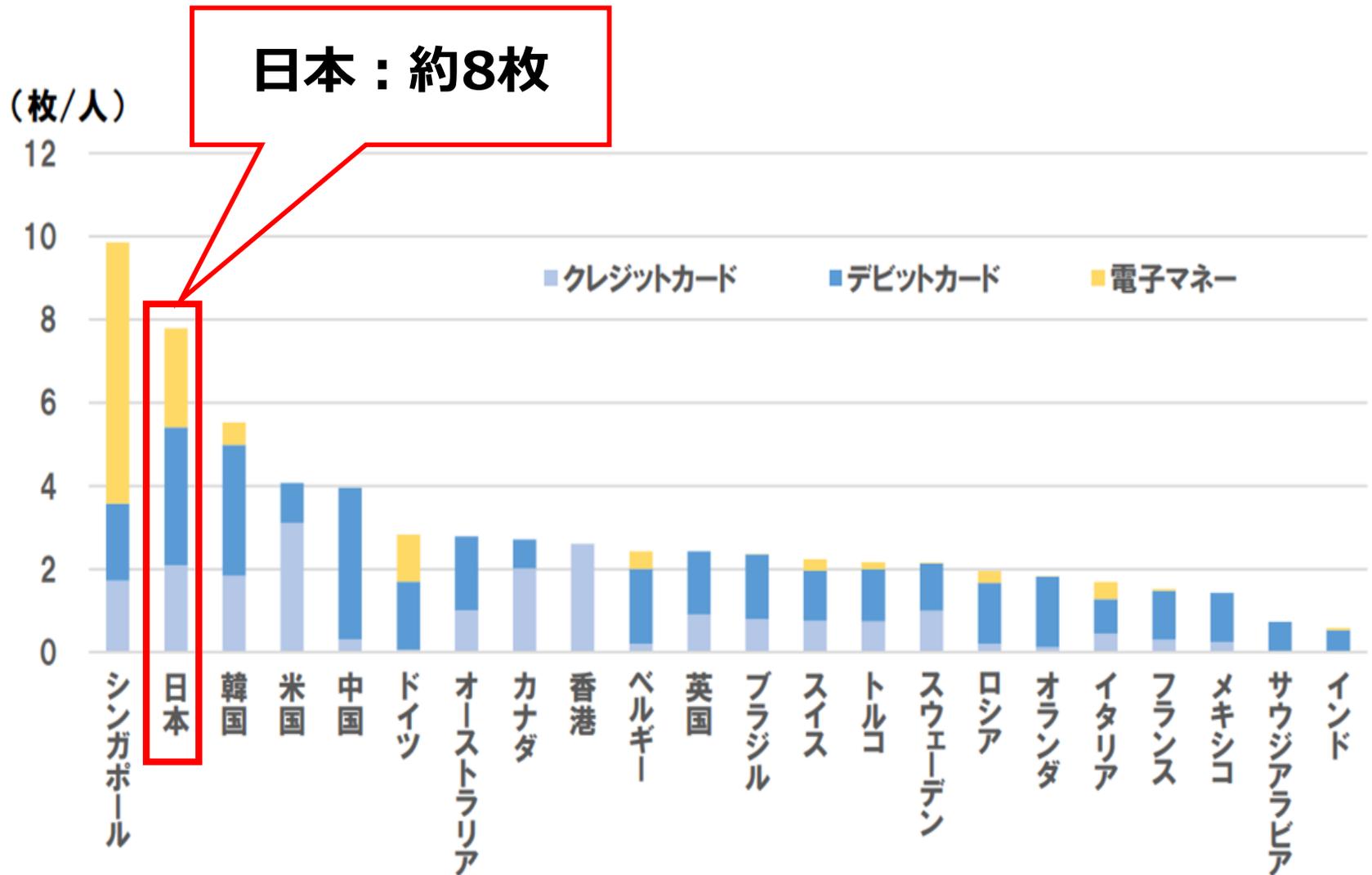
キャッシュレス決済とは

キャッシュレス

→ 現金を使わずに決済できるシステム

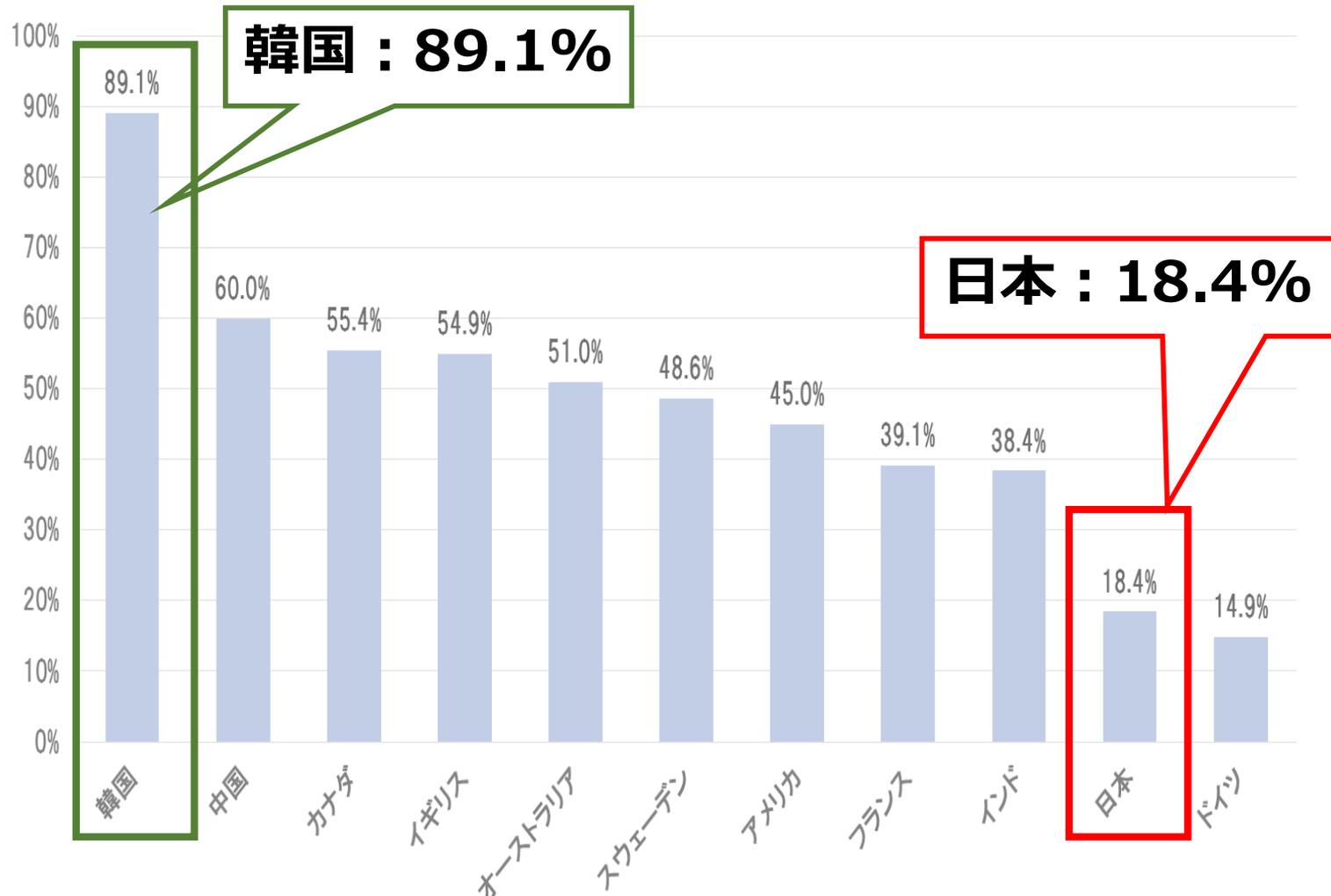
決済の種類	代表的な例
電子マネー	交通系：Suica・ICOCA・OKICA 流通系：WAON・nanaco その他：Edy など
クレジットカード	VISA、JCB、マスターカード
デビットカード	VISA、JCB
スマホ、QRコード、仮想通貨	Apple Pay・楽天ペイ・LINE Pay

キャッシュレス決済の現状



各国の種類別カード保有枚数

キャッシュレス決済の現状



世界各国のキャッシュレス決済比率

キャッシュレス決済の現状

進めぬキャッシュレス ICカード、スマホ決済

2018/10/19 03:01

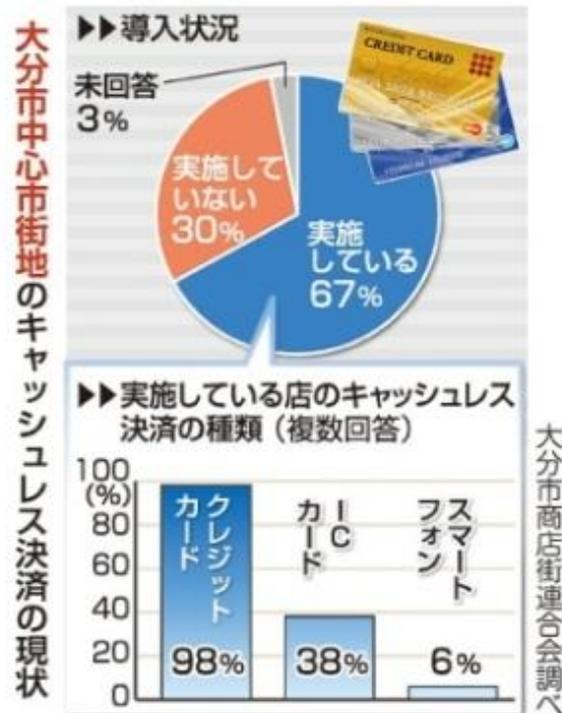
おすすめ 48

ツイート

クレジットカードは対応できるけど、スマートフォンやICカードの決済はこれから。大分市商店街連合会などが加盟店を対象に実施したキャッシュレス（非現金）決済に関する調査で、買い物や飲食の支払いに現金を使わないインバウンド（訪日外国人客）需要へ十分に対応できる環境は整っていない実態が浮かんた。店側には決済端末の費用に見合った効果が得られるのか懐疑的な見方がある。

大分市中心部の6商店街・共栄会の加盟店を対象に非現金決済の状況を尋ねた。「実施している」が67%を占め、「実施していない」が30%だった。

「実施している」と答えた店に（1）クレジットカード（2）交通系ICカード（3）スマートフォン（4）その他の決済手段の項目別に導入状況を質問。クレカは98%が対応しており、ビザやマスターカード、JCBの国際ブランドがい



キャッシュレス決済の現状

意外な結果に！ キャッシュレスが最も進んだ地域が明らかに

気になる日本全国のキャッシュレス化事情について、NTTドコモが47都道府県別での意識の差を明らかにする調査を行った。

「あなたは買い物で、現金以外を使うことはありますか？」という質問に対し、最も頻度が高かった地域のランキングはこのような結果になっていた。

1位：三重県 95%

2位：栃木県 93%

3位：沖縄県 92%

最下位 47位：大分県 74% (1位との差：21pt)

Exciteニュース 2018.3.13(<https://www.excite.co.jp/news/article/E1519981417202/>)

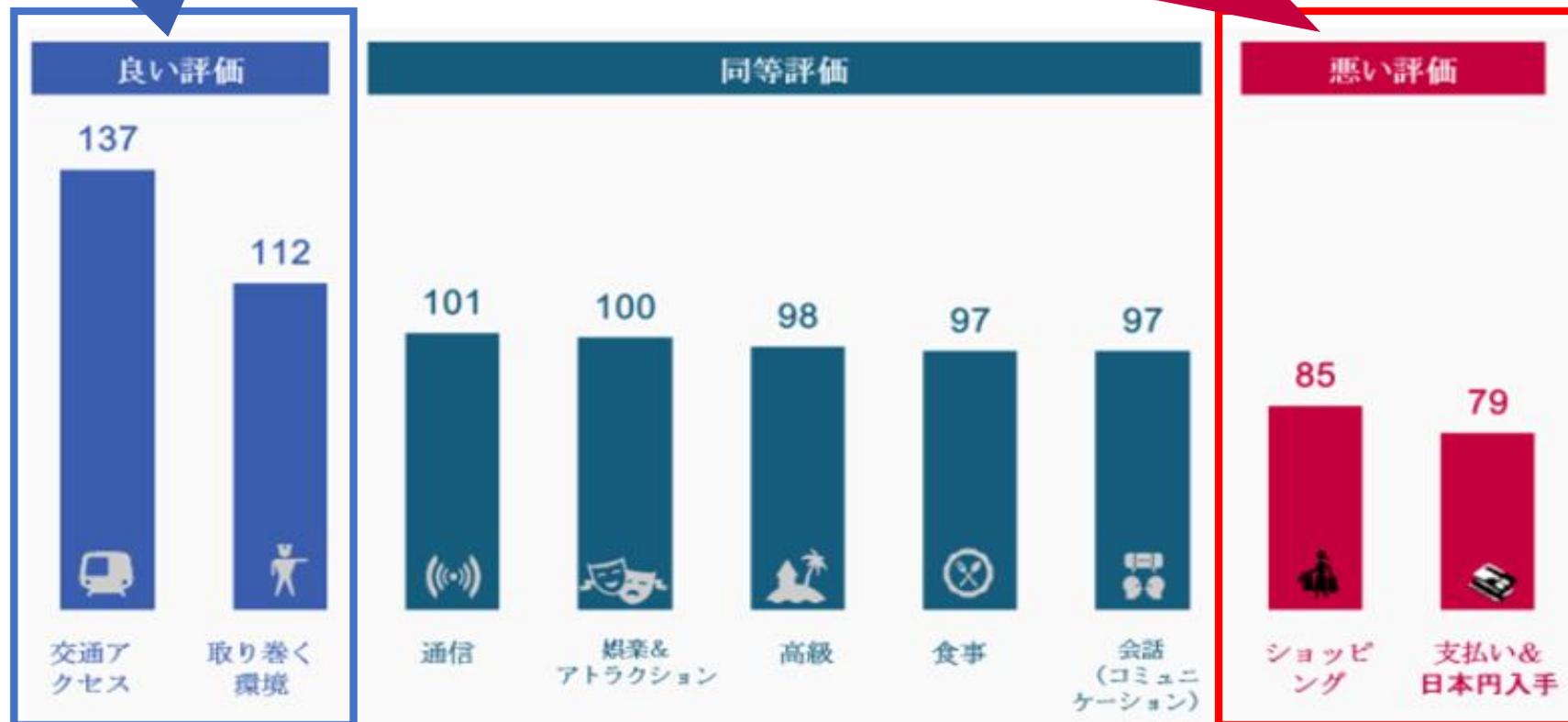
キャッシュレス決済の現状

【良い評価】

- ・ 交通アクセス
- ・ 取り巻く環境(治安)

【悪い評価】

- ・ ショッピング
- ・ 支払い&日本円入手



各国の都市と比較した東京

キャッシュレス決済 が可能な 施設の情報を集めて **可視化する**

概要

- キャッシュレス決済の可能な施設をカテゴリ別に表示
- 決済システムの種類などの追加情報を表示

どんなデータが必要??

キャッシュレス決済が可能な施設の見える化

必要なデータ

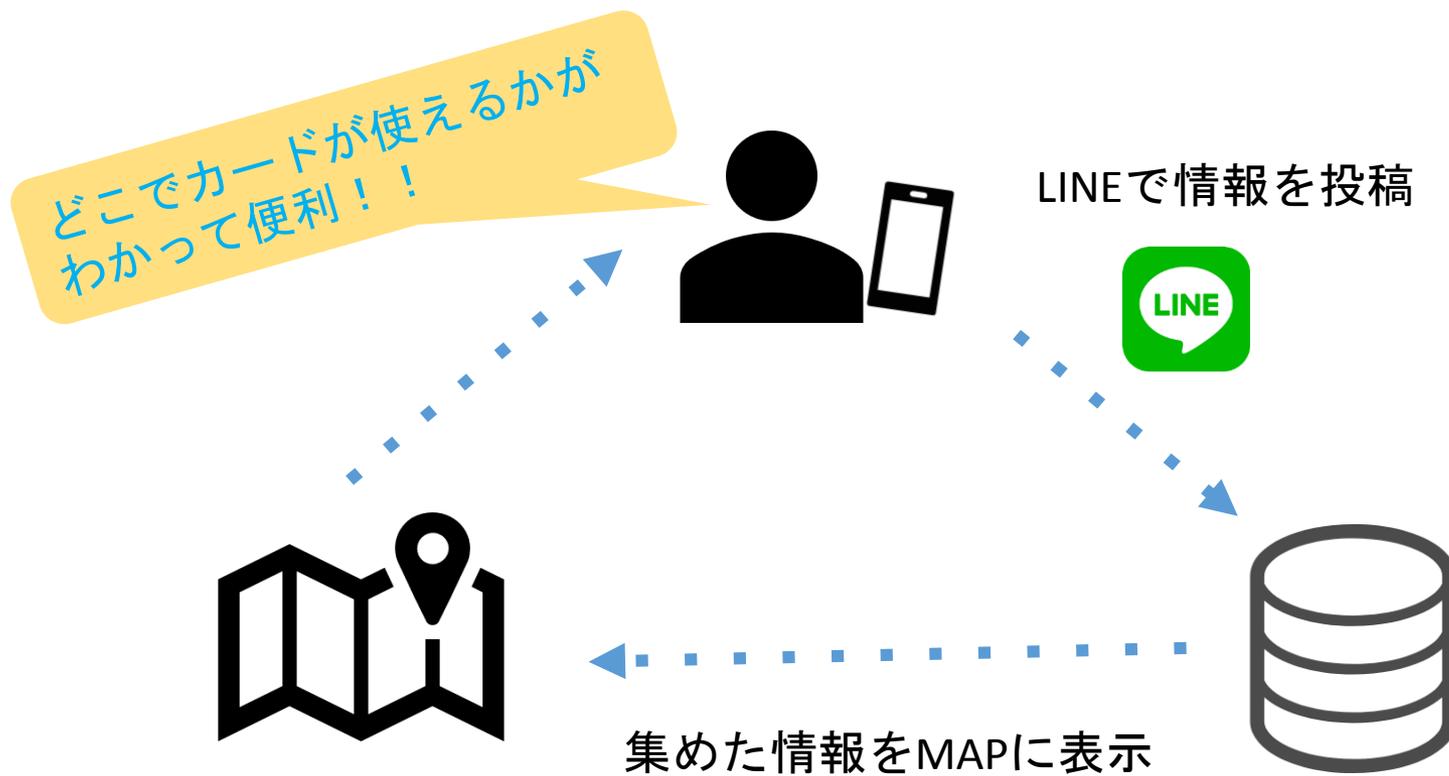
- 位置情報
- 決済の種類
- 外国語対応など

必要なデータがない・・・



データを収集する必要がある！！

データ収集のために

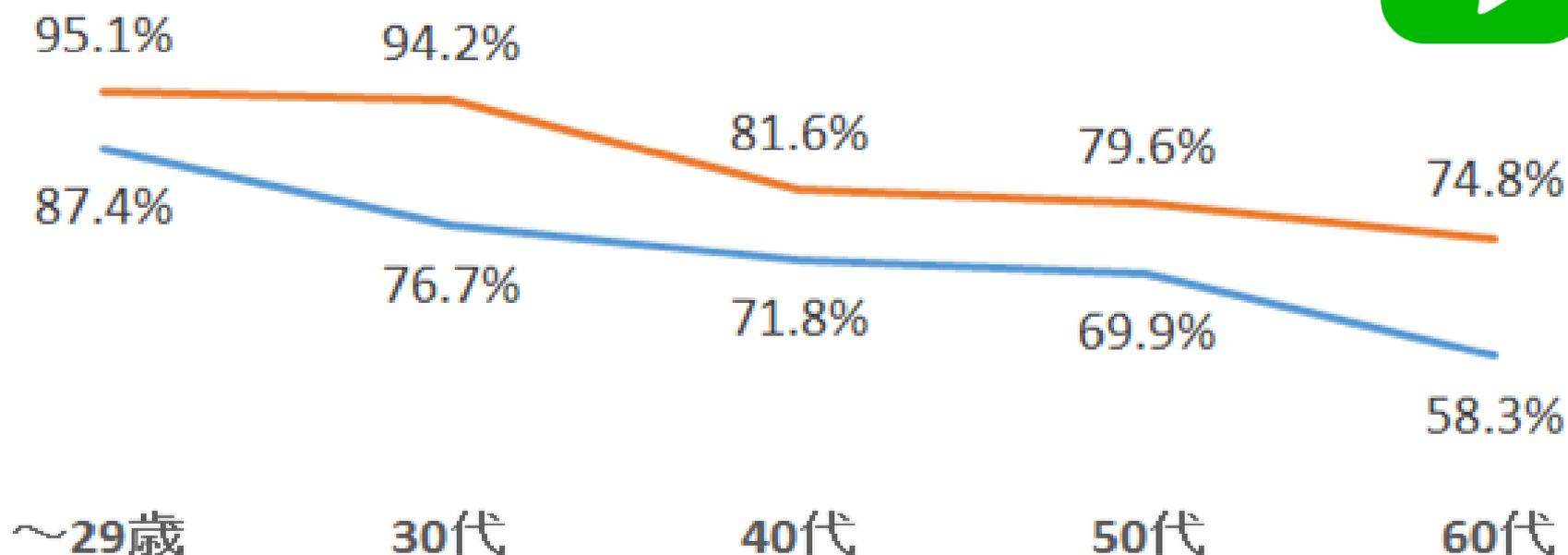


データ収集のために

LINEのユーザー比率



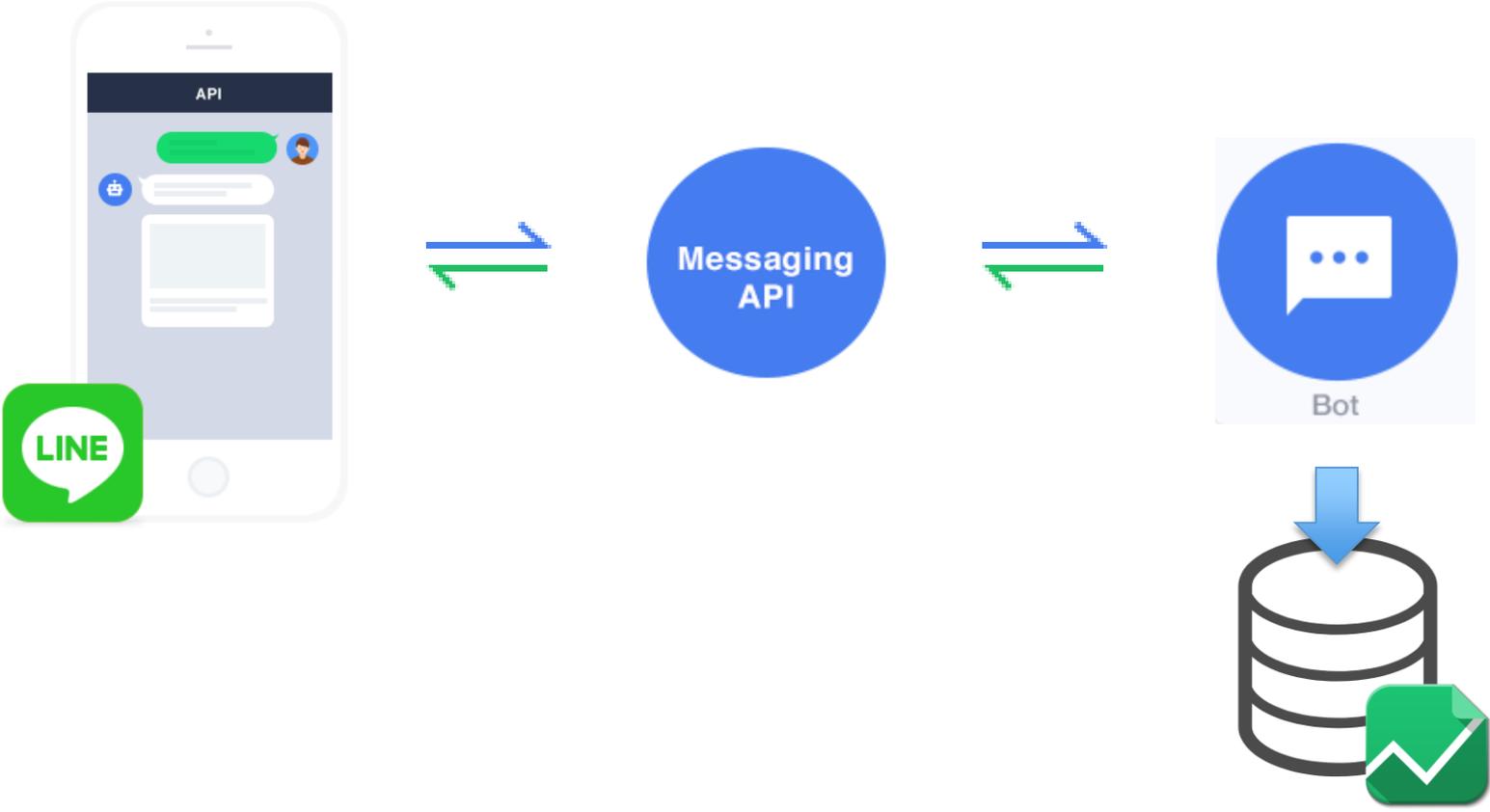
— 男性 — 女性



「LINE」を使ったデータ収集の方法を作成！！

demonstration

概要



作ってみた結果

1. 情報入力の煩雑さ

- LINEの会話形式ではあるが情報を入力する必要あり
- 専用入力フォームの作成で解決できるが有償である

2. 入力された情報の確認の必要性

- 情報の正確性や信憑性をどう判断するのか

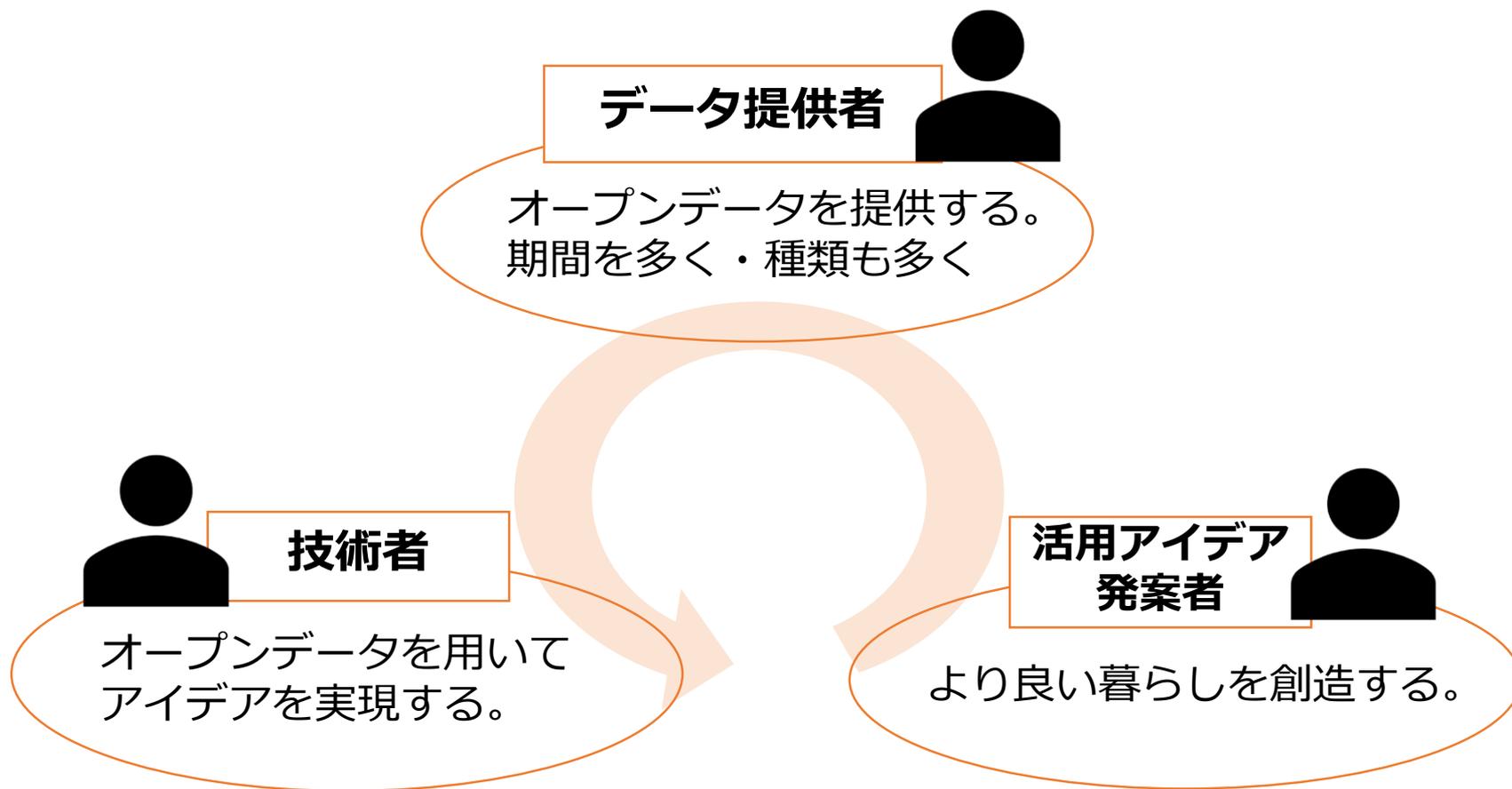
3. データ保持容量などのサーバによる制限

- データを保持する以上データベースとサーバー(クラウド)が必要

今後の課題と活用について

今後の課題と活用について

- データサイクルモデルを確立する必要がある



今後の課題と活用について

• データ収集用アプリの開発

→位置情報付き写真と併せて、特定のデータを収集できる



※追加したい情報は任意に設定が可能

今後の課題と活用について

自治体や企業が公開するデータ以外にも、自分たちで簡単にデータが収集することができればデータ活用はさらに進むと考える。

これからは

みんなで集めて、みんなで使う

をテーマとして、データ活用の検討と促進を行いたい。

ご清聴ありがとうございました。